

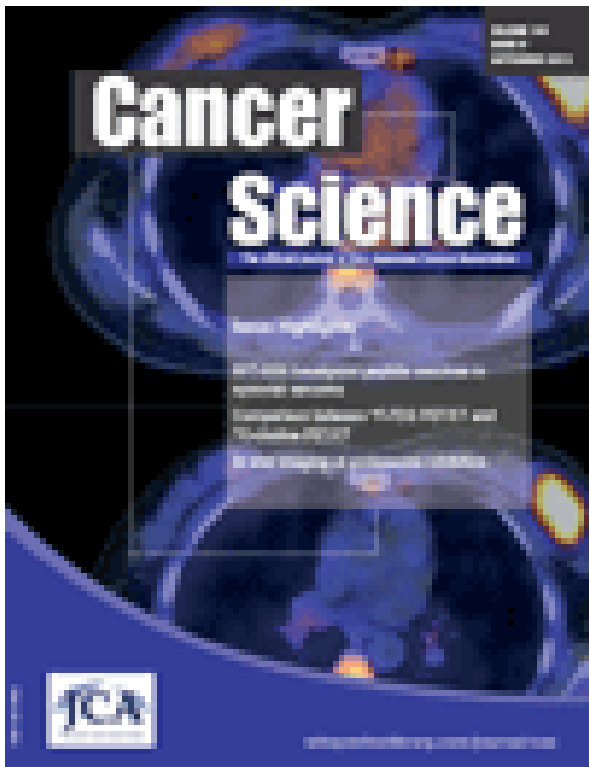
Cancer Science

The official journal of the Japanese Cancer Association



Cancer Science モーニングレクチャー

若手研究者が魅力的な英語論文を書くためのヒント



高橋 雅英

Editor, *Cancer Science*

名古屋大学大学院医学系研究科
分子病理学分野

I have nothing to disclose as COI related to this presentation.

英語で論文を書く（1）

幸いなことに、科学論文を書くのに、
難解で高尚な英語の表現力は必要ない！

論文で多様される用語、フレーズ、構文に慣れる。
我流の英語は書かない。

発表論文の英語をまねることから始める
(コピペ禁止)

参考になる文章を論文から書き写す
定型的な英語表現の引き出しを増やす

英語で論文を書く（2）

英文が良いからと言って論文はacceptされない！
データのクオリティーが何よりも重要



査読に耐えるレベルの英語力は、研究者にとって
必須の能力
Scienceが良くても損をする

英語で論文を書く（3）

論文を審査するReviewerの視点をもって書く

論理の構造が明瞭であり、読んでストーリーが素直に理解できる

どの点に新規性があるか明確であること

投稿前の英文校正サービスによるチェックは必須

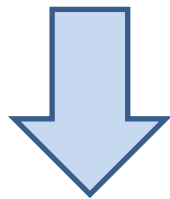
校正に送る時点で、英語の完成度をできる限り高めておく(校正の質に影響する)

執筆のポイント（１）

1. タイトルが論文内容を正確に表現しているか
重要なキーワードが入っているか
2. “新規性”が明確であるか
3. 論理的に展開されているか
4. 冗長な表現をしない
特にIntroduction, Discussion間で同じ内容を繰り返さない

執筆のポイント（２）

論文の主旨を納得してもらうために必要な Figure や Table をまず考え、作成する (Supplementary Figure や Table も)



足りない Figure (データ) に気づいたら、さらに実験を継続

執筆のポイント（3）

Figure, Tableができたなら、まずResultセクションにおいて**研究成果を提示する流れ**から考え、執筆する

最初からすべて英語で書く

日本語を書いて英語に翻訳して
いては、良い英語論文にはならない

統計解析 *Statistics*

統計の専門家にみてもらう



統計学で重要なことは
解析をいかに示すかより、適切な研究デザイン
研究の初期段階で経験のある生物統計家に
相談し、適切な研究デザインを得るのがベスト

注意ポイント

論文内で同じ内容を繰り返さない！

IntroductionとDiscussion、或いは
ResultsとDiscussionで、同じことを
繰り返す原稿がしばしばみられる

Introduction と Discussion

Introduction: 対象とする疾患、現象、分子などの
背景情報を提供し、この研究を進める意義・必要性を述べる

Discussion: 既報の知見との関連性や対比を交えて、
今回得られた成果の意義・新規性することを論じる。

研究のさらなる深化の方向性、応用の可能性などについて述べる。

今回の研究の限界についても述べる

Results と Discussion

Results: 当該研究を遂行することで新たに得られたエビデンスを、論旨に沿って分かり易く提示する。

Discussion: 当該研究の成果のサマリーでは無い点に注意！
新規性を強調したいあまり、Resultsで得られた事実を超えたDiscussionはしない。

(Commentの例) There is a lot of nice data in this paper but the authors have definitely stretched to try to achieve novelty.

念のため

Plagiarism（他者の論文からの剽窃）や、許容されないtext recycling（自分の過去の論文の文章の再利用）に当たる部分が無いことを、iThenticateなどのサービスを用いてかならず確認する。

最後に、英文校正サービスに依頼をして、 ブラッシュアップ

- 著名な出版社の提供からフリーランスまで、玉石混交の感は否めない。情報を集めて、信頼度の高いサービスを提供するところ選ぶ。
- 校正に送る際はできる限り英語の完成度を高めておく。
- 時に文意を取り違えた校正をされる場合もある。
変だと感じたら遠慮なく確認を取る

Editor, 査読者のコメント：返信

Revisionを返信するとき....

1. すべての質問やコメント一つ一つに誠意をもって応える
2. 攻撃的或いは過度に防衛的な反応は避ける
3. コメントを転記して、その順番どおりに返信する
4. 一つ一つ、どのように対応したかを明記

Editor, 査読者のコメント：返信

5. 提案を取り入れた対応を行わない場合
➡理由（科学的に正当な根拠）を明記して反論
6. 提案された変更全般に同意できない場合
➡取り下げて他誌に投稿
7. **Rebuttal letter**は重要であるので（時に20-30ページに及ぶことがある）**校正に出す。**

投稿先ジャーナルの選定

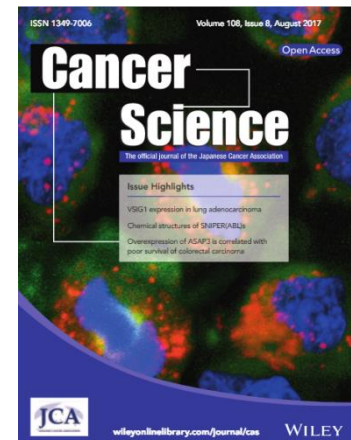
内容に沿ったジャーナルを選択することが大切

1. **Aims and Scope**を読む
2. 投稿規程を読む
3. どの**Index& Abstract** サービスに収録されているか
4. どれだけ広く読まれているか
5. オープンアクセス出版か否か

*Cancer Science*は....

- 創刊108周年
- **Impact Factor: 3.974**
(Oncology分野 68位/217誌)
- 投稿受理～初回判定： 18日 (原著の場合)
- オープンアクセス誌
(出版と同時に誰でも無料でフルテキスト閲覧)
- 年間のフルテキストダウンロード数: >850,000

The most cited
cancer journal from
Asia



投稿数・採択数: *Cancer Science*

2014-2016

	2014	% Acceptance rate	2015	% Acceptance rate	2016	% Acceptance rate
Total Submission	1165	-	957	-	1130	-
Accepted	215	19 %	229	24 %	266	24%
Accepted (日本論文)	145	39 %	162	44%	203	52%
Accepted (外国論文)	70	9%	67	12%	63	9%
Reject/expired/pending/ lapsed	950	81%	728	76 %	864	76%

投稿～First decisionにかかる日数: Original Articleでは…

	2014	2015	2016	2017
Submission to first decision	18日	19日	21日	18日

Aims and Scopeとは？

Aims and Scope:

ジャーナルの目的

ジャーナルの取り扱い領域・分野

論文種別 (総説, 原著, 症例報告など)

投稿前に必ず目を通し、自身の研究内容とあっているかを確認する

→ 論文内容が素晴らしくとも、Aims and Scopeに合わない論文はRejectされる

(commentの例)

The reviewer has found that although your contribution describes sound science and is published in principle, but the findings were not sufficient for urgent publications and would not be unduly damaged by the usual six-month publication delays of regular periodical.

投稿規程とは？

ジャーナルごとに投稿規程がある

→ 最新の投稿規程を入手しましょう

投稿規程に書かれていること：

論文執筆に必要な情報

別刷り

出版費用

オプションサービス

著者が利用できるサービスは・・・
(一部有料)

- Color on Web
- 無料PDF offprint
- Offprint (冊子別刷り、有料)
- Author Service
- Accepted Article
- Early View
- オープンアクセス出版 (有料)

*Cancer Science*の最新の投稿規程はジャーナルHP
(右記QR codeより)



著作権ライセンス:オープンアクセスの場合

	非オープンアクセス ジャーナル	オープンアクセス (CC-BY-NC の場合)	オープンアクセス (CC-BY-NC-ND の場合)
著作権書類	出版社指定の書類	CC-BY-NC	CC-BY-NC-ND
論文の著作権	学協会や出版社	著者	著者
論文へのアクセス	フルテキスト閲覧は 有料	出版と同時に、誰で も無料でフルテキス ト閲覧可	左に同じ
論文の再利用	制限あり (著者本人 以外の利用では常に 転載許諾が必要)	制限あり(非営利目的 での利用に限定して 、 オリジナル論文をサイ トすれば、誰でも 自由に改変・複写・ 利用可)	制限あり(非営利目的およ び改変(翻訳含む)なし での利用に限定して 、オ リジナル論文をサイトす れば、誰でも自由に複 写・利用可)

論文作成：Covering letterの準備

- *Cancer Science*への掲載を希望して投稿
学会やシンポジウムのプロシーディングスで抄録発表された以外に、他のジャーナルに掲載済み、あるいは投稿中でないこと
- すべての著者が貢献し、論文内容に同意
- **corresponding author**の連絡先
- 転載がある場合は、許可取得の有無
- **The salient and novel findings of the paper in a concise paragraph.**
- 掲載分野（ジャーナルが指定する9分野より選択）
- 文字数制限を超えている場合、その理由
- **Case Reports**においては、**informed consent**の有無

利益相反 *Disclosure Conflict of Interest*

*Cancer Science*では、全論文において、責任著者のみならず**全ての著者**について、過去3年間の利益相反の開示を求めています

開示条件：

1. Employment/Leadership position/Advisory role (JPY1,000,000 /US\$10,000 or more)
2. Stock ownership
(Profit of JPY1,000,000/US\$10,000 or more/ownership of 5% or more of total shares)
3. Patent royalties/licensing fees (JPY1,000,000/US\$10,000 or more)
4. Honoraria (e.g. lecture fees) (JPY500,000/US\$5,000 or more)
5. Fees for promotional materials (e.g. manuscript fee) (JPY500,000/US\$5,000 or more)
6. Research funding (2,000,000 yen / US\$20,000 or more before 31 December 2014, or 1,000,000 yen / US\$10,000 or more after 1 January 2015)
7. Others (e.g. trips, travel, or gifts, which are not related to research) (JPY50,000/US\$500 or more)

また、臨床研究には、追加の開示事項があります(ガイドライン参照のこと)

Cancer Science 独自の利益相反ガイドラインと投稿時提出フォームがあります (投稿規定内、Disclosure、右記QR codeより)



出版倫理の遵守 *Publication Ethics*

出版倫理に反した論文が増加

→ 論文のRetraction, 所属機関での処分などキャリアを失うことも...

- 二重投稿
- 二重出版
- 盗作
- データ捏造・改ざん
- 著作権侵害

出版倫理に関する情報はCOPEウェブサイトへ

Committee on Publication Ethics (COPE)
<http://publicationethics.org/>

*Cancer Science*では、悪質なケースが発覚した場合には著者の所属機関への連絡と調査依頼、一定期間の投稿禁止措置をとります（詳細は、投稿規程の*Duplicate Publication and Scientific Fraud*）

参考文献

Author Services

<http://authorservices.wiley.com/>

Author Services

Author Services Menu

- Home
- Authors
- Reviewers
- Help

My Dashboard

- Sign In or Register
- My Publications
- Order OnlineOpen

Welcome



Information for [Authors](#) [Reviewers](#)

Webinars

wileyauthors.com/webinars

- Introduction to Publishing for Early Career Researchers
- What Makes a Good Abstract and More...
- Your Route to Open Access: 5 steps to success
- AGU Author Webinar: How to Publish your Research

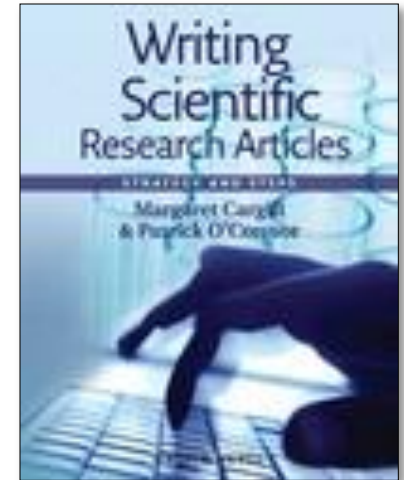
参考文献

Writing a Paper by George Whitesides,
Advanced Materials (available on
<http://materialsviewchina.cn>)

***Writing Scientific Research Articles:
Strategy and Steps*** by Margaret Cargill,
Patrick O'Connor, April 2009

How to Write a Paper, 5th Edition edited
by George M. Hall (Editor), October 2012

***Uniform Requirements for Manuscripts
Submitted to Biomedical Journals*** by
ICMJE, December 2015 (<http://www.icmje.org/icmje-recommendations.pdf>)



若手研究者を対象とした論文賞

Cancer Science Young Scientists Award



- 論文投稿時35歳以下の著者が対象
- 昨年度表彰分より日本人著者も対象

Cancer
Science

Young
Scientists
Award

日本人論文賞

2016年表彰分より
日本人も対象に!



論文投稿募集中

応募資格

- 2015年4月以降の出版論文
- 投稿時35歳以下の著者

表彰

- JCAにて受賞論文の発表及び表彰
- Wiley書籍\$150相当を贈呈

ご清聴ありがとうございました。

本日の *Cancer Science* モーニングレクチャー資料は
日本癌学会ホームページ上にアップされる予定です。